

くまもと

☎ 議会だより

92号

2019.1.25



平成31年1月5日 球磨村消防出初式(放水競技)

もくじ

12月の定例会	2～3
新年のご挨拶	4
一般質問における発言の要旨一覧	4
一般質問	5～10
議員研修	11
新年の行事	12

一般会計補正予算1億3,440万円を可決

第7回12月定例会は、12月10日から13日までの4日間の日程で開催され、規約の一部変更1件、工事請負契約の変更1件、分収造林契約の締結1件、条例制定1件、平成30年度一般会計及び特別会計補正予算4件、選任同意1件が原案のとおり承認、可決しました。

一般質問では、6人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。最終日には、任期満了に伴う球磨村教育委員会委員の選任同意についてが審議され、大無田光幸氏が新たに教育委員に選任されました。

定例会初日の10日は、まず

9月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、

人吉球磨広域行政組合議会の報告、人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

続いて、熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、柳詰正治村長が当選され、規約の一部変更1件、工事請負契約の変更1件、分収造林契約の締結1件、条例制定1件、平成30年度の一般会計及び国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道特別会計の補正予算4件、教育委員会委員の選任同意1件の9議案を上程しました。

【平成30年度一般会計補正予算を審議、可決】

補正予算では、平成30年度の一般会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

主なものは、溝ノ上治山工事、林道、村道全線維持、公共土木施設災害復旧工事など、7月の梅雨前線の影響により被災した治山工事、公共土木施設の災害復旧工事への歳出となっており、1億3,439万8千円を追加し、歳入歳出総額39億1,006万2千円となりました。

【一般質問】

一般質問は、11日と12日の2日間行われ、初日は、田代利一議員、東純一議員、小川俊治議員、高澤康成議員の4名、2日目は、松谷浩一議員、舟戸治生議員の2名が登壇。

球磨村総合計画、ふるさと納税、神瀬地区整備計画、人口減少時代におけるあるべきすがた、球磨村復興まちづくり計画、球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略、地域、在宅における高齢者の看護についてなど多岐にわたって執行部の考えを質しました。

(詳細は5頁～10頁に掲載)

また、一般質問初日の11日に

は、球磨中学校3年生31名が傍聴に訪れ、議員の質問や執行部の答弁にメモをとるなど真剣なまなざしで聞き入っていました。



球磨中学校3年生 議会傍聴

12月定例会 議案等の審議結果

日程	議案番号	件 名	結 果
第 1	議案第38号	熊本県市町村総合事務組合の一部変更について	原案可決
2	議案第39号	工事請負契約の変更について	原案可決
3	議案第40号	分収造林契約の締結について	原案可決
4	議案第41号	球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
5	議案第42号	平成30年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
6	議案第43号	平成30年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
7	議案第44号	平成30年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
8	議案第45号	平成30年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
9	同 意 第 3 号	球磨村教育委員会委員の選任同意について	原案同意



遠原地区分収造林契約地



溝ノ上治山工事箇所



村道田代線災害復旧工事

「村民が安心安全な暮らしができる地域社会の構築を目指す」



明けましておめでとございます。輝かしい新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。

村民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日ごろより議会活動に對しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、7月の豪雨9月には相次ぐ台風の接近。また地震も発生し、尊い人命が奪われるなど、甚大な災害が発生しました。このような自然災害の脅威に對し、今後も日本全体が協力して支援や災害対策事業を促進していく必要性を強く感じているところです。

本村では、災害に強い村づくりを目指し、村民防災会議本部会議・ブロック会議が開催、水害タイムラインの実働、さらには、自主防災組織の編成強化が望まれているところです。

このように、災害に備えた防災体制、あるいは少子・高齢化への対応等、多額の財政負担が必要な事業を抱えており、村の財政状況を見ますと依然として厳しい状況にあり、国の財政施策などに大きく左右される財政構造の脆弱さは、今後も続くものと思われま。議会といたしまして、村の予算に対する監視機能を十分に果たし、

そして少子・高齢化、人口減少など社会環境の変化を十分に認識し、さまざまな課題に對し、積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

村民の皆様の声を村政に反映していくことを第一としながら、より開かれた議会の実現を目指して、多くの村民の皆様により深く議会活動を理解していただけるよう、村民目線に立った「議会だより」の編集に取り組んでおります。

さらに、地域の振興と住民福祉の向上のため、村民一人ひとりが安心安全な暮らしを実現できる地域社会を構築するよう、村民の皆様の負託に応えられるよう努力を続けてまいります。

村の各種計画の目標達成に向けて、二元代表制の一翼を担う議会として村執行部と連携し、村民の皆様のご理解とご協力を得ながら、村政発展に努めてまいりたいと考えております。

結びに、厳しさを増す地方自治体において球磨村が一層発展しますこと共に、皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成31年1月吉日

球磨村議会議長 多武義治

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	項
田代利一議員	① 球磨村総合計画 ② ふるさと納税 ③ 農山漁村振興交付金事業 ④ 各課主要事業	5項
東 純一議員	① 神瀬地区整備計画 ② 村内学校施設 ③ 村内道路状況	6項
小川俊治議員	① 人口減少時代におけるあるべき村のすがた ～第6次球磨村総合計画策定にあったての抱負～	7項
高澤康成議員	① 社会体育移行における課題と対策 ② 球磨村復興まちづくり計画（地方創生施策を含む） ③ 一勝地温泉かわせみにおける経営状況及び職場環境	8項
松谷浩一議員	① 老人クラブの現状 ② プレミアム付き商品券 ③ 球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略	9項
舟戸治生議員	① 地域・在宅における高齢者への看護 疾病・障害を持つ高齢者の看護	10項

田代議員 柳詰村長初の村政総合計画としての第6次計画に向けての方針及び思いについて伺う。

柳詰村長 森林環境や観光資源などを活用した産業の振興と雇用の創出を図りつつ、みんなで協力し助け合い、子供から高齢者まですべての村民が、健康で幸せを実感できる村を築き上げることを目標として、また豊かな自然を次世代につないでいけるような、総合計画にしたい。

田代議員 総合計画の進捗状況と住民の意見要望の反映。アンケートの対象者と回収数、率、発行部数は。

高永企画振興課長 村民アンケート、各種団体の聞き取りを行い、検討委員会、策定委員会を各2回、振興計画審議会を開催し、順調に進んでいる。アンケート対象者は1、

500人、中学生全員であり、回収数、率は754人、50%。中学生は全員回答。発行部数は300部。概要版1、500部を予定している。

田代議員 11年目を迎えるふるさと納税について、思いは。

柳詰村長 これまでの10年間で1、000万円の寄附を頂いている。ありがたい感謝している。

今年案8、000万円という高い目標を掲げ全職員一丸となり鋭意努力し、さらなる自主財源確保を図る。

田代議員 返礼としての商品に例えば墓掃除などの考えは。

柳詰村長 一人暮らしの高齢者が多く、シルバー人材センターとの委託契約で返礼商品に入れることは可能。

田代議員 農山漁村振興交付金事

業について現在取り組まれている、ヤマメ養殖、洋物野菜栽培について伺う。

柳詰村長 農山漁村振興交付金事業、通称山村活性化支援交付事業は年間1、000万円の交付が3年間受けられる制度で地域を盛り上げ頑張りたいとする団体に交付される。ヤマメ養殖事業については、一勝地活性化協議会が事業主体となり、軌道に乗りつつあるが、経営継続に向けての支援を行う。洋物野菜については、渡地域農業活性化協議会が主体となり、夢チャレンジ事業に引き続き研鑽を積み品質の向上、実績に結びつけてもらいたい。

田代議員 ヤマメの販売と「かわせみ」での料理状況と今後の方向は。

高永企画振興課長 一勝地温泉「か

わせみ」と人吉に定期的に出荷し、4月から11月で約60万の売上。「かわせみ」では刺身、てんぷら、から揚げをメニュー化して利用。ふれあい祭りで50匹の売り上げがありやまめファンを増やし、需要に満たない。

田代議員 洋物野菜栽培での予算執行と進捗は。

犬童産業振興課長 執行率40%、冷蔵庫の配置はまだ未定。

田代議員 100%の執行を望む。取り組みの遅れを感じるが。

柳詰村長 行政主導が強く反省している。協議会の頑張りに期待し、応援したい。

答

シルバー人材センターとの委託契約で可能

ふるさと納税の返礼品として、墓掃除など考えられるか



田代 利一 議員



ヤマメ養魚場

旧神瀬小体育館の解体に伴う、 新しい施設の役割は

答 新たな防災施設である避難所として整備を行うものであり、防災拠点として活用を図る

東議員 旧神瀬小体育館の解体に伴う、新しい施設の役割、位置づけについては。

柳詰村長 解体に伴う新しい施設については、1. 神瀬地域の防災力向上の観点から、解体敷地造成すること。2. 新たに防災施設である避難所を整備する計画を策定していること。この2点について事業の認定を受け、財政の課題にめどがつき、地域への説明を行った。

東議員 解体後は避難所との説明があったが、この体育館は、これまで地域での運動会等地域活性化にも大きな役割を担って来た。新設される避難所も、活性化に向けた多面的な利活用はできるのか。

柳詰村長 施設は、災害時以外でも地域コミュニティ活動にも活用できるものと考えている。

東議員 敷地盛土に、川内川の掘削利用はできるか。

上建設課長 その時の川の状態によつては協議し、掘削要望はしたい。

東議員 一勝地小学校の施設についてであるが、状況として、校舎と体育館は離れた位置になっている。雨の日には不便もあり、苦勞も多いかと思う。屋根付きの渡り廊下の設置はできないか。

柳詰村長 現在のところ、学校等からの要望もなく、さほど支障も来していないので検討したことはない。また、間には里道も通っており、設置は考えていない。

東議員 要望もなく、支障も来していないということだが、雨の日に上履きを手に持ち、体育館まで傘をさして行かなければならず、用具の運びもある。どのように感じておら

れるか。

友尻教育長 確かに管内を見ても、つながっていない学校はほとんどない状況でのなかであるが、今回のこれを受けて、学校のほうにも聞いて



東 純一 議員

みたいし、要望あれば検討していかなければならない。

東議員 間を通る里道について、球磨中のように、車も通る部分を設けた渡り廊下は建設可能か。

上建設課長 人が歩くだけの里道であれば難しくないと思うが、大型車等考えると、その部分、屋根が高くなり、金額もかかると思われる。

東議員 要望が出ていないかということだけではなく、先生、生徒の今の現状を認識され、より良い教育環境づくりに努めて頂きたい。

東議員 近年、木材の伐採もあり、川島線、遠原線等、道路沿い立木もなく崖側は谷底になっている。積雪の時期でもあり住民の不安もあるが、安全対策については。

柳詰村長 改良を含め、要望を行っている。緊急を考慮し計画整備していきたい。

上建設課長 すぐの改良とは難しいと思うが、要望を行っていききたい。



解体予定の旧神瀬小体育館

小川議員 第6次球磨村総合計画策定に向けての村長としての抱負は。

柳詰村長 人口減少、少子高齢化の進行に加え、高度情報化社会の進展、

安心安全に対する意識の高まりなど社会を取り巻く情勢も大きく変化している。こうした変化に的確に対応していくため、住民と行政が互いに、自ら考え、自ら行動する村づく

り。住民が主役となり、力を合わせて球磨村を育てていく仕組みづくりが重要と考える。

小川議員 村民と一緒に力を合わせるといふことについての具体的なものは。

柳詰村長 新しい事業についての説明会など出向き、村民の皆さんの意見を聞きながら納得の上で進めている。村民座談会など来年新しい予算を組み次第実施したい。

小川議員 地方創生総合戦略や人口ビジョンについて村民の受け止めは。

柳詰村長 村民アンケート調査、意

向調査を十分踏まえたものを記載し数多くの会議と広報等で連絡してきたものであり理解いただいたものと思う。

小川議員 行政区、嘱託員としての位置付け、公民館活動と分館設置の位置付けについて伺う。

柳詰村長 行政区、委託された区長の位置付けは、住民への福祉など重要なサービスを確実に届けるなど、地方自治行政を効率よく遂行していく上の窓口となる基本的な単位、枠組みである。公民館は村住民のため、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的にしている。現時点においては、公民館活動を担う分館としては不十分と思われる。今後時間をかけ関係機関と連携の中で、活動の活性化を図る。

小川議員 人口減少の中で、地方交付税交付金の算定要素のひとつである人口とこれからの村財政についての考えは。

柳詰村長 村人口は5年間で459人減少、普通交付税も5年前に比べ9,386万円の減少となり少なからず人口減が影響している。村税等の自主財源も横ばいであり、人口減少していることから増加は見込めない。今後の行財政の運営は厳しいものがあるが、国県はじめ、関係機関への財源確保を図り、鋭意努力する。

小川議員 厳しい財政状況の中で村が管理する公共施設の維持管理と住環境、定住促進のための新たな住宅建設についての考えは。

山口総務課長 建設から30年を経過し耐用年数等超える施設も数多くあり、補助金等を計画し更新する。住

宅も現住される皆さんの利便性を考慮し国県の補助金を活用し更新できるものは更新したい。

小川議員 公共施設の維持管理についても経費が必要となる。住宅について現住されている方の思いも重視しなければならぬが村財政のスリム化を図ることからも解体を判断しなければならぬ時期かと思うが。

柳詰村長 不要の施設については解体を進めている。住宅は古くなり入居希望者がいなくなれば考えなければならぬ。



答 新しい予算組み次第、村民との座談会を実施する

村民と力合わせの具体的取組は



小川 俊治 議員



築30年を経過した、渡駅前住宅

社会体育移行における 課題と対策は

答 移行後の体制の内容について研修会を行って いる

高澤議員 社会体育移行において、

今後、どこが主体となり、関係団体と協力しながらより丁寧に地域の特質を描いていく必要があると考えられるが、社会体育移行における課題と対策は。

柳詰村長 これまで区長文書や広報くまむらを使って、村民の中で

周知を行い、各学校からは保護者へ説明、教育委員会でも、全保護者を対象としたアンケート調査の実施や保護者説明会、移行後の体制の内容について研修会を行っている。

高澤議員 地域スポーツ環境を総合的に改革を行う必要があると思うが、今後、考えられる問題点について村としての考えは。

柳詰村長 来年度より新設するジュニアクラブの活動は、時間、場所は



社会体育移行の活動の場となる一勝地小学校運動場

これまでの部活動の体制と同様だが、活動内容と指導者が変わるため、移行後に子供たちが戸惑いを感じる

ことが予想される。教育委員会事務局も今後、課題把握や情報収集を行い、スムーズに来年度からスタートできるようにしている。

高澤議員 中学校の部活動で現在既在する種類と今回社会体育にお



高澤 康成 議員

けるチームとのスポーツ種類がなぜ整合性がないのか伺う。

友尻教育長 基礎体力を十分に小学校段階でつくり上げ、そして中学校の部活動へと適応していける

ような総合運動教室をつくる予定にしている。

高澤議員 球磨村復興まちづくり計画の重点内容は。

柳詰村長 重点施策の一つとして、抜本的な治水対策と急傾斜地対策を掲げており、浸水被害軽減対策、防災情報の拡充、避難計画の充実、地域防災力の向上を主な取り組みとして対策を進め、自分たちの地域は自分たちで守るという自主防災意識の醸成を図ることにしている。

高澤議員 地域における防災力の

向上において、消防団活動の充実及び地域連携の強化、消防団組織の充足に向けた消防団員の確保と育成などさまざまな取り組みをされているが、今後の消防団のあり方は。

山口総務課長 消防団員の確保、

維持については、行政としているいろいろな面で支援を行いながら消防団が維持・活動できるよう支援していく。

高澤議員 一勝地温泉「かわせみ」の経営状況と今後の運営についての考えは。

柳詰村長 4月から9月までの半年間で468万円の赤字決算となっている。「かわせみ」は雇用の創出、地域活性化に大きく貢献している部分もある。今後においても、私を含め、取締役一丸となって、経営改善による黒字化に努めてまいりたいと考えている。

老人クラブが抱える課題は

答

一クラブ30人以上の会員確保をお願いしたい

松谷議員 老人クラブ数が8年前の

19クラブから現在15クラブに減少し

ている。特に小規模クラブでは、会

員30人を確保することが年々困難と

なっており、また、30人を割ると村

の助成金も半額以下となるため、経

済的にも老人会活動に影響してく

る。このような状況を考えると村

の助成額の見直しが必要ではと考

えるが。

假屋住福祉課長

30人〜39人ま

での老人クラブに対しては県からの

助成金2万2千円を含めて5万4千

円、29人以下については県からの助

成金はないが、村から2万5千円を

助成している。村としては、助成金

の見直しというよりも、多くの方に

加入してもらえよう勧誘し30人以

上を確保して頂きたいと考えている。

柳詰村長 人員確保が困難なクラブ

については、近隣の地区の方にも声

かけし、一緒に活動して頂きたい。

松谷議員

地域経済の活性化のため

に実施されているプレミアム付きの

商品券事業だが、今回の販売状況を



高年齢者健康祭

みると、ひとりで何口も購入したり、

村民以外の方が多く購入するなど、

短期間で売り切れとなり買いたい方

が買えない状況であったと聞してい

る。

高永企画振興課長

商品券事業が

終了すると、商工会から実績報告で

購入者名簿が提出されるが、約8割

が村内の方、2割が村外の方である。

また、商品券の販売については、商

工会で販売希望店を募り今回は9店

舗で販売した。代理で購入できるか

は確認できていない。

松谷議員

高齢者等の買い物弱者に

対しても恩恵のある事業でなければ

いけないと思うが。



松谷 浩一 議員

柳詰村長 買い物弱者については、

急な質問で考えていない。

松谷議員

他の町村の販売方法を見

ると、さまざまな工夫をしている。

村の予算が使われている以上、村民

のために有効に使われるよう検討を

お願いしたい。



移動販売 (遠原地区)

地域在宅における高齢者の 看護への思いは

答 住みなれた地域で暮らしを支え看護する 体制づくりが必要

舟戸議員 地域在宅における看護・疾病・障害をもつ高齢者の看護への思いは。

柳詰村長 健康長寿の村づくりを

目指し、住みなれた地域で、お互い支え合い、生き生きと暮らすことができる村づくりに取り組み、高齢者の健康づくりには、介護予防事業の推進に力を入れている。本人が、住みなれた地域での暮らしを希望する場合、支え看護する体制づくりが必要になる。

舟戸議員 在宅医療と介護一体的提供するための関係機関団体と協力しての支援実施として、在宅医療介護連携事業をされているが、村の現状は。

假屋住民福祉課長 事業に関しては、医師会との連携が不可欠であり、人吉球磨郡医師会とで委託契約を結び、切れ目のない在宅医療及び、在宅介護の提供体制構築推進

など事業を推進している。本村は、啓発検討部会に属しており、行政担当者及び課長会等実施しているところである。

舟戸議員 病気によって退院支援は、自宅復帰支援の必要性も変わる。複雑な問題を有する患者の場合、行政との連携が重要であると思うが、対応は。

假屋住民福祉課長 退院支援については、本人の希望だけでなく、家族の問題等も大きく影響してくると思われる。職種の専門職と本人、家族を中心に据え、それぞれの問題を勘案しながら方向性を共有し連携して行きたい。

舟戸議員 地域包括ケアシステムについては、介護が必要になって、自宅や地域で暮らし続けられるサービスの支援体制と思うが、支援体制についての考えは。

假屋住民福祉課長 包括支援セン



舟戸 治生 議員

ター中心とし、サービスが一体的に提供されるよう体制構築する必要がある、連携して自立支援や、みとりまでの協議を行う支援体制、介護予防教室等行うことで支援を行っている。

舟戸議員 それぞれの事情があり、みとりをする場所は、自宅、病院、施設でも構わない。ただ、何もしないことを望むのであれば、在宅のほうがスムーズに行くことが多いと言われる。村としては、みとりについて相談があった場合、対応としては、また、みとりについて今後どのように考えられるか。

假屋住民福祉課長 在宅でのみとりを希望される場合には、希望の十分な聞き取りを行い、必要な情報を提供することで、まず、不安を取除いていただくことが第一と

思う。医師の訪問診療や訪問介護体制の確保等、話し合いながら個別の支援を実施しており、今後も希望に沿った支援を行っていきたい。

舟戸議員 介護度認定に対しての対応は。

假屋住民福祉課長 村では介護度が正しく判定されるよう普段の様子を詳しく聞き取りしており、結果に意義あれば審査会へ申し出ることもできる。村では積極的に研修会参加をしている。



千寿園「デイサービス」

千葉県南房総市の閉校した小学校を視察

平成 30 年 11 月 7 日～9 日にかけて議員研修を行いました。研修先は、千葉県南房総市和田町にある「自然の宿、くすの木」という施設です。東京都内から東京湾アクアラインを経由して 1 時間半ほどの山に囲まれた静かな中山間地域に位置します。「くすの木」は、平成 7 年に 122 年の歴史に幕を閉じた小学校を活用して「地域おこしを行うこと」を目的として平成 9 年に完成した体験交流施設です。

施設の基本方針は

- ① 都市と農村の交流拠点としての機能充実
- ② 地域のコミュニティの場としての機能
- ③ 王国のシンボルとして旧校舎を整備する

の 3 つで、施設に隣接する神社には、千葉県の天然記念物である樹齢約 750 年、幹回り 12 m、樹高 32 m のくすのきがそびえており、施設名称の由来ともなっています。

くすの木は、一学区一行政区で小学校を中心としてきた地域であったことから、地区民の団結が強く、施設の整備計画段階から住民の積極的な参加を得、現在運営にあたっても大きな力となっています。

施設の管理運営については、南房総市から指定管理者の指定を受け、地区の区長を中心に施設長、事務員、調理員、宿直等を含め二十数名で行っており「笑顔いっぱい・田舎たっぷり」をキャッチフレーズに、母ちゃんの味・ふるさとの香りを味わっていただけるよう地区民を挙げて取り組んでいます。また、取り組み内容としては、ハイキング・竹細工・農業体験など季節ごとに様々な体験メニューがあり、平成 29 年度は、宿泊 2,577 名、体験コースを含めると全体で 15,274 名の方が施設を利用し、大都市東京から近く立地条件に恵まれていることもあり、リピーターも増えています。

当村においても平成 23 年に「田舎の体験交流館さんがうら」が開設しました。最近では、「ならがわ」レストランや総菜の移動販売など新しい取り組みにもチャレンジし、地域の活性化に大きく貢献していると感じます。その他にも村内には多くの団体が地域を盛上げるために活躍されています。

そのような中で、住民を代表する者として、地域づくりにどのように取り組むべきか考えていきたいと思います。

松谷 浩一



自然の宿くすの木

新年の行事

新成人のつどい (1月4日) 石の交流館「やまなみ」



消防出初式 (1月5日) 球磨村総合運動公園



編集後記

あけましておめでとうござい
ます。いよいよ平成最後の年を
迎えました。

天皇陛下の退位と皇太子殿下
の即位が同時に行われるのは約
200年ぶりの事です。新天
皇の即位日となる5月1日は本
年度限りの休日となるため10連
休になる人も……

明仁天皇は現在85歳、天皇と
して最後の誕生日の記者会見で
「平成が戦争のない時代として
終わろうとしていることに心か
ら安堵している」と述べられ
ました。戦争を知らない私た
ちにとっては何か不思議な感
覚です。

これからはじまる新しい時代
も私たちにとって安らかな時代
であってほしいと思います。

松谷 浩一

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	松谷 浩一

■球磨村世帯数:1,474世帯 ■人口:3,699人 男:1,756人 女:1,943人(平成31年1月1日現在)